



大阪年金者組合

聞こえのバリアフリーを！

補聴器助成推進ニュース

2025.2.27 21号

大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階

TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746

伊藤一正 大阪市内支部協議会事務局長(府本部副委員長)

介護予防の「㊦こやかに㊦いご予防で㊦い人生」の新規事業4億9400万円のひとつで、介護予防をする人という条件付けですが一歩前進です。何年も市・市議会へ要望・陳情をくり返した結果です。



大阪市 補聴器補助

2025年度予算案に計上 

3月市議会 2/7 開会・3/27 閉会(最終本会議採決)

対象:65歳以上 補助上限:25,000円

2025年4月実施

収入制限:なし

当局を大きく動かしました。府本部の問い合わせに、担当部局の地域包括ケア推進課の担当者は「昨年、介護保険料が全国一になった。その対策として令和7年度から3年間介護予防の事業を重点的に実施する。補聴器補助はその中のメニューとして計上した」と返答しました。指定都市20市で5番目。大阪で残るは堺市のみ。

大阪市内支部 声を出し続け

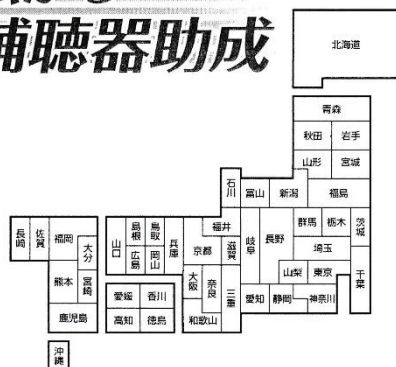
山を動かした

大阪市の2025年度当初予算案に、補聴器助成費を聞こえのサポート事業費として計上しました。年金者組合大阪市内協では「加齢性難聴を放置すると社会的孤立に陥る確率や認知症の発生率を上げ、社会的損失が大きくなる」と毎年要望する中、「国が補助制度を創設すべきで国に要望している」とくり返していた

全日本年金者組合中央本部に

補聴器公費助成運動プロジェクトチーム発足

広がる
補聴器助成



高齢期の生活を支える補聴器の公的助成自治体が380を超え、いま大きな流れになってきています。昨年の総選挙の結果、自公半数割れと政治情勢も大きく変わり、私たちの運動いかんによっては、切実な要求を実現できる展望も大きく開かれています。こうした中で、補聴器助成運動を前進させ、国に補聴器補助制度や健康保険適用を求めた取り組みの強化を図るため、中央本部にプロジェクトチームが2月に立ち上げられました。大阪府本部からは是枝副委員長(中央本部執行委員)、林執行委員が参画します。